



2メジャー1カットのスピリッツで

岩槻区 西原小学校 教諭 戸野塚 晃

1 はじめに

私は、今年度の8月4日から5日間にわたり、10年経験者「企業体験研修」として星亀木工所で椅子づくりの研修をさせていただいた。学校とは異なる職場での体験は、自身の日々の教育活動を見つめなおすよい機会となった。

ここでは、この「企業体験研修」で感じたプロフェッショナルな精神と研修後の取り組みについて紹介させていただく。

2 2メジャー1カットの精神で

星亀木工所は、見沼区の閑静な住宅街にあり、手作業と機械操業をバランスよく取り入れた作業所である。以来創業45年、木製の椅子作りに取り組み、地域にもつながりの深い木工所である。

椅子はテーブルやタンスなどと比べるとパーツが多く、デザイン性が高い（曲線が多い）ため、多様な形状が生み出せる分ハイレベルな加工技術が必要になるそうで、設計の段階から1ミリ単位のこだわりで神経を費やすことになる。当然、それは加工の段階になればなおのこと神経を研ぎ澄ますことになるのだが、そこで「2メジャー1カット」の精神で加工を進めていくそうである。「2度集中して設計を見直したなら迷わず1回で切断」。そうすることによって一定の緊張感と集中力の持続によりいい作品が作られていくという事である。私はこのお話を聞かせていただいて「授業」にも通じるものがあるなと感じた。

指導案作成に推敲を重ね、授業になれば児童を信じて迷わず実践する。それは、まさに職種

は違えども、プロとしての意識の大切さは同じであることをもう一度実感させていただくよい機会になった。

また、休憩室の壁には①オリジナリティー、②販売先の確保、③事業計画、④強い志、と直筆で書かれた紙が貼られていた。星野社長の強い信念が感じられ、50年近く会社を経営していける一つの要因になっていると考えられた。この4つの言葉もまた、教員としての自分の視野を広げ、今後の教育活動の指針の一つになるであろうと強く感じた。

3 研修後の取り組みと成果

先日、私は10年経験者研修の研修教員代表として研究授業をやらせていただいた。つたない自分の英会話レベルに戸惑いながらも納得のいく授業を実践したいという思いから、言葉一つにこだわりをもち、何度となく本時のワークシートを作り直し、JATとのデモンストレーションのタイミングを図った。当日児童はとても意欲的に取り組み、参会者の方々、指導者の先生からお褒めの言葉をいただいたのだが、振り返ると今回の研究授業に対する自身の取り組みこそが、まさに「2メジャー1カット」のスピリッツだったのではないかと感じている。

4 これから

業種は異なっても学校現場で活かせることはたくさんあった。星亀木工所の皆様が持っていた「プロ意識」を私自身の「教師としての自覚」として心に刻み、今後の教育活動に活かしていきたい。